

NPO 法人日本ジャグリング協会 臨時総会の議案の連絡

以下の日程で開催される臨時総会で決議予定の議案を連絡致します。

尚、今回の臨時総会では事前投票も受け付けます。事前投票を行いたい場合は臨時総会の一週間前までに会員登録をお願いします。

<日時>

2022年9月23日（金） 11：00 開始

<場所>

オフライン：東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター（JJF2022 会場）
第2研修室

オンライン：会員の方には ZOOM 情報を連絡済みです。

<議題：役員選挙>

日本ジャグリング協会の今年度役員候補者と各所信を連絡致します。

※今回はその他の議題はありません。

理事候補（5名） ※届出順

- ・松岡 寿典
- ・浦和 新
- ・後藤 猛文
- ・小野口 貴仁
- ・徳川 亮祐

監事候補（1名）

- ・米屋 遊

【会員登録について】

臨時総会に参加するには本協会の会員である必要があります。

会員となって頂ける方はチケットサイト、或いは会員登録案内から申込みをお願い致します。

尚、**総会への参加を希望される方は一週間前までの登録をお願いいたします。**

会員用メーリングリストへの登録に時間を要するため、開催直前に登録された場合は連絡がスムーズにいかない場合がございます。ご理解の程よろしくをお願いいたします。

チケットサイト：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/020h92e420f21.html>

登録案内：https://drive.google.com/file/d/1S_yiLspe3mbtHEFUnwX23JRBznudHGA2/view

【所信：理事候補】

●松岡寿典氏

皆様お世話になります。松岡です。おかげさまで日本ジャグリング協会の監事を9年間務めさせていただきました。

これまでの経験を活かし、10年目は理事として立候補します。

今回理事として立候補した理由は、理事の人的リソース不足を多少なりとも解消することが目的です。

立場は違いますが監事として理事会に9年間属してきました。また、監事在任中に会計処理の知識を補強するために日商簿記2級を取得しました。これらの知識や過去9年間分の資料を活かして財務担当理事の補佐をはじめ、今までは監事として関わることができなかった意思決定が絡む内容についても携わりたいと思います。

次の1年、理事として務めさせていただくことができたなら新たに得た知識を活用し協会に役立てることができると思います。皆様よろしく申し上げます。

●浦和新氏

浦和新といいます。昨年度は前理事長の退任を受け理事長を務めさせていただきました。

理事としては2018年より務めさせていただいておりましたが、理事長となった昨年度はいろいろと視点が変わりとても良い経験をさせてもらいました。

ここ数年は様々な理由により満足に開催できなかったJJFでしたが今年は開催できそうで良かったと思っています。一方でNPO法人として、またジャグリング協会の存在する意義としてまだまだ多くの課題が山積みの状態です。次世代へ引き継ぐためにもこれらの課題を新しいメンバーたちとともに解決していくべく次の年度を過ごしたいと思っています。

●後藤猛文氏

過去 2 年間理事として活動させていただいています、ホームページのリニューアルや事務局の移転などに関わってきましたが、
コロナ禍の影響を受け完全な形での J J F の開催もできていませんし、ジャグリングの普及活動も思うようにできていません
また協会の信頼度を上げスポンサーのつくような団体へと変えていきたいとの思いもまだ時間がかかりそうです
もうしばらく理事として活動させていただきジャグリングの発展に微力ながらも貢献できればなと考えています
皆様よろしく申し上げます

●小野口貴仁氏

この度日本ジャグリング協会 理事に立候補いたしました小野口です。

2016 年から J J F チャンピオンシップステージ (CS) 事務局にて CS の運営に関わってきました。

2022 年は CS 担当に加え、J J F 副担当にもなり、CS や J J F の運営に携わっております。

2023 年も J J F および CS に携わっていただけると考えております。

今年の所信として次の 4 点を挙げます。

1. J J F の安定的開催

2. CS をはじめとするジャグリングコンペティションの安定的開催

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら CS の開催を続けていきます。

3. 開催要項の見直し

開催要項を見直し、改善を図っていきます。

4. 審査委員候補の公募の継続

審査委員候補の推薦および公募を行う予定です。

2023 年も J J F や CS をさらに活性化させたいと考えています。

みなさま何卒よろしく申し上げます。

●徳川亮祐氏

この度、日本ジャグリング協会の理事へ立候補いたしました、徳川亮祐と申します。

これまでの日本ジャグリング協会への関わりとしては、「JJF 実行委員会」と「ジャグリング普及委員会」の2点がございます。

JJF 実行委員会では、JJF2016～JJF2022 にかけてイベントグループのワークショップ担当や、劇場グループのチーフとして、JJF の運営に尽力しました。

ジャグリング普及委員会の活動では、港区の学童施設にてジャグリング教室を実施しました。

個人としてのジャグリングへの関わり方としては、ジャグリングパフォーマーとして出演活動をしています。

また、近年はサーカスの技術習得を通じて様々な社会課題を解決する「ソーシャルサーカス」の団体に所属しており、団体の一員としてワークショップ活動、サーカスの普及活動を行っています。

今回、理事として選出していただいた暁には、ジャグリング協会の理事の立場から、個人としての経験も活かしながらジャグリングの普及活動へ尽力させていただければと考えています。

よろしく願いいたします。

【所信：監事候補】

●米屋遊氏

日本ジャグリング協会誌 Shall We Juggle? (以下、SWJ) 担当理事の米屋遊です。

今年度は監事として立候補します。

理由としては、昨年度の理事会の議事進行及び予算執行について、不適切な流れがあり、それを修正できなかったことです。

監事として就任した暁には、議事進行および予算執行に関して適正な対応を理事の皆さんに求めることを考えております。

SWJ に関しては編集部員として可能な限り、お手伝いする考えです。